

地元企業×地元大学生の交流会 「Cross Meeting」を開催します ～企画・運営に大学生も初めて参加します～



横浜市を代表する金沢臨海部工業地帯で働く地元企業の方と、区内の関東学院大学、横浜市立大学の学生との交流会を開催します。企業にとっては学生を理解する場として、学生にとっては働くことを考えるきっかけとして、相互理解の促進を図ります。

【経緯】

金沢区では、平成 25 年度から区内 2 大学と連携して、地元企業の「魅力」を取材し、学生、地域へ発信しています。昨年度から、これまで協力していただいた企業の方々と、2 大学の学生との交流の場を設けています。2 回目の開催となる今回は、学生に地元企業をより身近に感じていただけるよう、地元企業の若手社員との交流会とします。

さらに、交流会の企画・運営にあたり、区や 2 大学就職支援担当課とともに、**横浜市立大学の吉永崇史（国際総合科学群准教授）ゼミ 3 年生が、ゼミのテーマである経営組織論研究の一環として連携して取り組みます。今回の連携をもとに、今後は学生企画の「Cross Meeting」開催を予定しています。**



開催概要

【日時】 平成 28 年 6 月 30 日（木） 18 時 00 分～20 時 30 分

【場所】 横浜市立大学金沢八景キャンパス YCU スクエア 1 階 ピオニーホール

【参加者】 企業：金沢区工業団体連絡会加盟企業 9 社（15 名）

（参加企業：海洋電子工業(株)、関東プリンテック(株)、協和合金(株)、協立金属工業(株)、昭和精工(株)、藤森工業(株)、(有)双葉印刷所、萬世リサイクルシステムズ(株)、横浜機工(株)）

学生：関東学院大学、横浜市立大学に在籍する学生 25 名程度

ファシリテーター：山路 清貴 氏

（山路商事(株)都市・建築設計室長、横浜市まちづくりコーディネーター、金沢産業団地・鳥浜工業団地の活性化検討事業のコーディネーター）

【内容】

●参加企業による自己紹介

（業務内容や中小企業の魅力などについてお話しいただきます。）

●企業と学生でのグループディスカッション

（ワールドカフェ形式で、「働くこと」をテーマに、地元企業の魅力や中小企業のやりがいなどを、企業と学生と一緒に考え交流します。）



※ワールドカフェとは…「カフェにいるときの気軽な雰囲気」で「会議のような真剣な討議」を可能にするために設計された話し合いの方法。組み合わせを替えながら少人数でテーブルを囲み、楽しく真面目に議論を積み重ねていくうちに、擬似的に「全員と話している」気分になれるよう設計されています。

【裏面あり】

【参考】前回 Cross Meeting 概要

- (1) 日時：平成 28 年 2 月 9 日（火）14 時 30 分～17 時
- (2) 場所：横浜市立大学金沢八景キャンパス シーガルセンター 2 階 シーガル会議室
- (3) 参加者：
 - ア 学生 関東学院大学生、横浜市立大学生 33 名
 - イ 地元企業経営職級社員 5 名
 - ウ ファシリテーター 山路 氏
- (4) 内容：
 - 【第 1 部】パネルディスカッション
 - 【第 2 部】ワールドカフェ形式グループディスカッション

(参加者の感想)

～学生～

- ・大学生、区役所、企業とさまざまな立場の方の話を聞いて面白かった。工業団地内の企業を工場見学して回り、実際に働いている姿を見たい。
- ・中小企業だからこそできることを学べた。中小企業に対するイメージがポジティブになった。

～企業～

- ・学生たちが積極的に発言してくれたこともあり、逆に驚いたり考えさせられたりと有意義な会だった。

報道機関の方へ・・・

取材をご希望の方は6月29日(水)までに金沢区区政推進課までご連絡ください。

※ キャンパスタウン金沢とは

関東学院、横浜市立大学と金沢区役所は、平成20年11月に協定を締結し、大学の専門的な知識、学生の行動力や斬新で柔軟な発想を生かし、「学生街としての賑わい」「学生が活躍する街」の創出など「**キャンパスタウン金沢(大学のあるまちづくり)**」を進めています。本プロジェクトでも学生の目線を生かして、地元企業の魅力(いいとこ)を発信します。



お問合せ先

- ◆本イベントについて
金沢区区政推進課長 伊倉 久美子 Tel 045-788-7720
- ◆各大学の取組について
関東学院大学 広報課係長 鈴木 敦 Tel 045-786-7049
横浜市立大学 学生・キャリア支援課長 上野 修 Tel 045-787-2090